

防災行政無線システムへの入力インターフェースの規格化に係る実態調査（案）

1 目的

防災行政無線システムへの入力インターフェースの規格化にあたり、現在の防災行政無線システムの接続回線方式や通信方式等の実態及び規格化するうえでの課題を把握するため、実態調査を行う。

2 調査対象

防災行政無線システムのメーカー（8社）

3 調査内容

- (1) 現在構築している防災行政無線システムの以下の仕様
 - ・接続回線方式（LAN、IP-VPN、インターネット等）
 - ・通信方式（FTP、SOAP、ソケット等）
 - ・音声データ方式（WAV、MP3 等）
 - ・電文のフォーマット（XML、HTML、CSV 等）
 - ・接点信号の受け渡しルール（入力有効判定時間・ループ抵抗等）
- (2) 上記(1)以外で規格化した方がよい仕様
- (3) 規格化するうえでの課題や要望

4 調査時期

平成 29 年 8 月～10 月

以上